

総務企画委員会・分科会

**質** 移住定住環境事業費における人口政策・移住定住推進室の移転に係るスケジュールは。

**答** 10月に物品等の発注手続を行い、令和5年1月中旬に納品や各種機器の設定等を完了させて、2月初めには移転を完了したい。

**質** 人口政策・移住定住推進室の移転について、窓口業務だけでなく、室全体で移転する理由は。

**答** 室においては、人口問題対策に関する業務のほか、移住相談、空き家バンク、結婚祝い金や移住関連の補助金申請等、業務が多岐にわたっている。こうした業務全体に対応するため、特定の窓口職員だけでなく、室全体で移転する必要があると判断した。

**質** 人口政策・移住定住推進室の移転に係る費用対効果の点において、移転先の集客力に問題はないか。

**答** 市内の施設としては、多くの方々が集まる場所の一つと認識している。現在の庁舎から移転し、より多くの方々に移住定住施策を知っていただく機会を増やすことによって、効果が見込めるものと判断した。

(鍋谷 暁)

文教民生委員会・分科会

**質** 第四保育所の廃止に関し、会計年度任用職員である保育士の廃止後における処遇はどのようになるか。

**答** 保育士以外の業務を含め、市が雇用している会計年度任用職員の多くが4年度末をもって任期満了となることから、市全体における募集を行う中で、民間への転職希望の状況なども確認しながら対応を検討していきたい。

**質** 乳幼児健康診査費の内容はどのようなものか。

**答** 子供の近視、遠視、乱視等の病気を発見できる屈折検査機器を新たに導入しようとするもので、3歳児健診での活用を予定している。現在実施している家庭での視力検査及びアンケートとの併用により屈折異常を早期発見し、早期治療につなげていきたい。

**質** サン・ウッド駐車場整備事業の効果をどう考えるか。

**答** サン・ウッド能代は、生涯学習施設としてのほか、様々な目的で利用されており、駐車場は時間帯によっては満車となる状況にある。風の松原いこいの広場の再整備に伴う利用者の増にも対応できると考えている。

**質** 向能代公民館改築事業費の内容は。

**答** 公民館の現在地が、土砂災害特別警戒区域の急傾斜地及び急傾斜地崩壊

危険箇所それぞれ隣接しているため、安全調査のためのボーリング調査を実施するとともに、基本設計を行うものである。

**質** 向能代公民館改築に当たって、他の建設候補地はあったのか。

**答** 昨年度、現在地、旧向能代小学校跡地、第二保育所跡地の3か所を想定場所として調査を行い、その結果を地域住民に説明の上、意見交換会を行ったところ、現在地が選定された。

(藤田拓翔)



向能代公民館

産業建設委員会・分科会

**質** 誘致企業の進出に伴う、能代工業団地用地について、土地の取得価格よりも造成工事が高額になっている理由は。

**答** 取得予定の地目の9割以上が原野であり、取得価格が低く収まったため、結果として工事費用が高くなっている。

**質** 水道事業の有収率を向上するため今後どのように取り組んでいくのか。

**答** 引き続き、漏水調査を実施して、修繕を行っていくほか、老朽管を更新しながら有収率の向上を図っていききたい。

**質** 大雨による被害を受けた林道施設の復旧見直しは。

**答** 軽微な補修等については順次、業者への発注を進めているが、復旧工事については現在積算を進めている状況であり、降雪期を控えているため場合によっては雪解け後に着工することも考えている。

**質** 大雨による道路河川災害の復旧見直しは。

**答** 年度内の復旧を目指しているが、市道小掛刈又石線及び仁鮎麻生線の2路線については、被害が大きく、工法によっては時間がかかる可能性もある。

**質** 県産米品質向上支援事業費補助金に関し、機械の導入によって得られる